

2010年(平成22年)9月(1)

# おたる 西別院だより

季刊 第94号



生菓子 果物盛り合わせ

## 小樽別院・各説教所の報恩講の日程

- 小樽別院・・・ 10月13日(水)～16日(土)
- 彰心会(若竹説教所)・・・ 9月5日(日)
- 法友会(新光説教所)・・・ 10月22日(金)～23日(土)
- 樹心会・唯信講(奥沢説教所)・・・ 11月2日(火)～3日(水)

10月13日(水)から17日(日)まで、月忌参詣をお休みさせていただきますので、どうぞお寺にお参りください

# 報恩講ご講師法話

佐賀教区

北山組 円光寺住職

本願寺派布教使

安田 積心 師



昨年7月、『拝読 浄土真宗のみ教え』

という本が、本願寺出版社から発行されました。その中で、「人生そのものの問い」のところを御紹介しましょう。

「日々の暮らしのなかで、人間関係に疲れた時、自分や家族が大きな病気になった時、身近な方が亡くなった時、「人生そのものの問い」が起こる。「いったい何のために生きているのか」「死んだらどうなるのか」。この問いには、人間の知識は答えを示せず、積み上げてきた経験も役に

は立たない。目の前に人生の深い闇が口を開け、不安のなかでたじろぐ時、阿弥陀如来の願いが聞こえてくる。親鸞聖人は仰せになる。「弥陀の誓願は無明長夜のおおきなるもしびなり」「必ずあなたを救いとる」という如来の本願は、煩惱の闇に惑う人生の大いなるもしびとなる。このともしびをたよりとする時、「何のために生きているのか」「死んだらどうなるのか」、この問いに確かな答えが与えられる。

さて、東京の生命尊重センターから発行されている冊子に、筑波大学の村上和雄名誉教授の『DNAとおなかの赤ちゃんと私たち』というのがあります。かいつまんでまとめみましょう。1グラムの2千億分の1の小さな遺伝子の中に

32億の情報が書き込まれていて、その細胞が60兆あるといわれている。言い換えれば、お米1粒の50億から40億分の1という小さなところに32億の遺伝子情報がある。遺伝子は2つのペアで23組あり、両親のをそれぞれ $2 \times 2 \times 2$ と23回かけると70兆。両親の受精卵から生まれる子供の確率は70兆分の1というのです。まさに、人身受け難しですね。受け難き身として生まれ、今を生きていく時、人生そのものの問い、無明なままを生きるのではなく、深い闇を超えて、人生のともしびとなって下さる阿弥陀如来様の知恵とお慈悲に出あわせて頂き、精一杯生き抜き、阿弥陀様のお浄土に生まれさせて頂きましょう。

# 2010(平成22)年度 本願寺小樽別院 報恩講日程表

期 日	時 間	法要・行事	布教(ご法話)
10月13日(水)	午後1時30分	○逮夜・御伝鈔拝読(上巻)	布教一席(40分)
14日(木)	午前6時30分	○晨朝	布教一席(30分)
	午前10時	○日中	布教一席(40分)
	午後1時30分	○逮夜・御伝鈔拝読(下巻)	布教一席(40分)
	午後6時	○初夜・祖徳讃仰	崇敬法中(30分) 布教一席(30分)
15日(金)	午前6時30分	○晨朝	布教一席(30分)
	午前10時	○日中	布教一席(40分)
	正午	おとぎ(お食事)	
	午後1時30分	○大逮夜・御俗姓拝読 物故者追悼法要	布教一席(40分)
	午後6時	○初夜・祖徳讃仰  ○後夜法要	崇敬法中(30分) 布教一席(30分)
16日(土)	午前6時30分	○晨朝	布教一席(30分)
	午前10時	○満日中・御礼言上	布教一席(30分)

## 表紙絵のコメント

たとえば、バナナの色。黄色だけど絵の具で絞り出した黄色はバナナの色じゃないんです。少し緑がかっていたり、黒い部分、黄色も全体的に均一な色じゃないんですよ。大きさや形もそう。いざというとその大きさや曲がり具合など作れないもんなんですよ。でも、何か変だなってことだけわかるんですよ。とお話してくださいましたのが、つくし牧田の代表取締役社長 牧田 浩司さんです。

とはいえ、表紙の生菓子の果物の仕上がりを見てびっくり。桃にざくろに蜜柑にアドカド。質感大ききともに本物そっくり。今回はお店に展示していた生菓子をお借りして表紙にしてみました。



小樽別院門徒 牧田 浩司 作  
「生菓子 果物盛り合わせ」

# 日々のおつとめ

## 讃仏偈を学ぶ

私たち浄土真宗本願寺派の門信徒は宗祖親鸞聖人のお心をいただき、阿弥陀如来の恩徳を讃え感謝する思いからおつとめをいたします。小樽別院では月忌参詣のおつとめに偈文（讃歌）の一つである『讃仏偈』を唱えさせていただきます。『讃仏偈』は浄土三部経（『仏説無量寿経』『仏説観無量寿経』『仏説阿弥陀経』）の中に説かれています。

浄土三部経は浄土真宗のよりどころとする三つの経典で『仏説無量寿経』は親鸞聖人が「真実の教え」と讃えられた経典で、阿弥陀如来の本願がとかれ、名号のいわれがあらわされた浄土真宗の根本聖典であり、阿弥陀如来の浄土建立と、凡夫（私たち）が極楽浄土に往生できるいわれが説かれています。

さて、『仏説無量寿経』の内容ですが、大きくわけてみますと、①如来が世に出現されたのは悩み苦しんでいる私たちに真実の教えを説き救うため ②法蔵菩薩が発願し、修行され、阿弥陀如来になられた ③法蔵菩薩の師である世自在王仏を讃え、自らも智慧と慈悲にあふれた仏になることを

願い、他の仏がたの国の優劣をみてすぐれたものを選び取って四十八願を説き（讃仏偈） ④四十八願のなかでもすべての衆生（私たち）に名号（南無阿弥陀仏）を与えて救おうと誓った第十八願が根本である事を説き ⑤四十八願の要点を重ねて誓い（重誓偈） ⑥法蔵菩薩の修行のさまをつたえ ⑦願と行が成就して阿弥陀如来になられてから非常に長い時間が経っており ⑧阿弥陀如来の徳と浄土のありさまをあらわし ⑨南無阿弥陀仏をとまえ、阿弥陀如来を信じる事で浄土に往生し ⑩浄土に往生した徳を広く説き ⑪弥勒菩薩に対して三つの煩惱と五つの戒を誡め阿弥陀如来の智慧を信じて浄土往生を願うべき旨を勧め ⑫南無阿弥陀仏のすばらしさ、この教えは衆生（私たち）を救い続けることが説かれています。

『讃仏偈』をおつとめさせていただくと共に仏を讃え（仏徳讃嘆）、阿弥陀如来の願いとほたらきを聞き（聴聞）、浄土に往生させていただく事を一層慶ばせていただきたいものであります。

家電製品販売、修理、フランスベッド  
住宅設備機器販売、住宅リフォーム  
冷暖房設備・ロードヒーティング・融雪設備

お客様に愛される信頼とサービスの店  
有限会社 **西森電機商会**

小樽市天神1丁目10番3号  
TEL(0134)24-0503  
FAX(0134)32-2217

和洋菓子

り り あん  
**里 李 庵**

牧田 敏 雄

店舗 小樽市朝里2丁目13番15号  
電話 店舗(54)-6127



新畳・表替・裏返・畳工事

やっぱり畳が落ち着く  
生き続ける伝統の技

Ⓢ **木下畳店**

小樽市山田町 8-6  
☎・FAX 23-2245

### 広告募集

「おたる西別院だより」に掲載してくださる商店や業者等を募集しております。詳しくは **0134-22-0744** 別院だより担当者:森までご連絡下さい。

ご門徒さんを訪ねて

第10回

菓心 つくし牧田 代表取締役社長 牧田 浩司さん



牧田 浩司さん



菓心 つくし牧田  
住所：花園 5-7-2  
電話：0134-27-0813

「父が商売を始めたのは、昭和五十年だったと思います。当時は入船町で卸しをやっていました。今の土地に店を構えたのが昭和六十三年で私が小学校六年の時でした。」とお話を聞かせてくださったのが、二代目の息子さん。

今回は、花園町のつくし牧田さんにお伺いして色々聞かせていただきました。

小さい頃から物を作るのは好きで、図工が得意だったそうです。「お菓子屋もお盆やお正月の時期は忙しいんです。小さい頃から休みを利用して手伝ってましたね。」休みの時期に遊べないところなんかは意外にお寺と似ているのかなあと思いました。

今年3回忌を迎えた先代さん(お父さん)についてお話を伺うと「どちらかというとなんかに仕事の仕方を押しつけてくる父ではなかったです。ただ聞けば答えてくれる人でした。母は元気でどちらかというとなんか温和な人です。私の妻と家族三人で、あと

従業員五人の計八人で今でもお客さん相手に楽しんでやっていますよ」と答えてくださいました。

大変失礼かと思いますが、後志管内でも名の売っていた先代さんからもっと学びたかったという気持ちがありますか?と伺うと、「やっぱりいなくなってしまうから知られることはたくさんありますね。父が何気なくしていた作業のひとつひとつの凄さはいなくなってしまうからいつそう知らされました。」

父が簡単そうにやってみて、それを見てきたんですが、いざ自分でするとできないうんです。それこそ実際の良さや正確さは当時の職人の間でも並ぶものはいなかったですから」

今でも年に数回三越などで実演販売をするらしいのですが、「だいたい作れる演目?というんですかね、私はいくつか用意して行くんですが、父はその場でリクエストに答えて作っていました。野菜や果物、いつも見慣れているのに色も形も大きさも再現

するのは本当に難しいんです。」

最後にもうひとつ質問を。

「経営者としてまた職人として、こだわる事、あるいは妥協しなきゃいけない部分がありますか?」と伺うと「今、売り上げの事を考えれば、洋菓子のお店が抹茶を使ったり和菓子のお店が生クリームを使ったり境目がなくなってきたからね。その方が売り上げは良いんですけどね。でもうちは茶道の方も買ってきてくださるんです。ですから干菓子など基本のものはしっかり作りたいですし、あまり変わったことをしても駄目なんです。昔ながらの伝統や文化を守り、引き継いでいく、効率が良いかもしませんがうちの店ではそれが大事なんだと思います」とおっしゃっていました。

お盆にむけて落雁を作成している貴重な時間をいただき、ありがとうございました。

### 取材を終えて

今回、お話を伺っていて面白いなあと思ったのが機械でなく手作りにこだわる姿勢でした。たしかに機械は正確で綺麗だけど、でも人間にはかなわない。それはちょうどワープロの字が手書きに勝てないのと似ているそうです。

良い意味で変わらないということへのこだわりは、まさに職人!だと感じました。時代に合わせる部分と守っていかないといけない部分、それは言葉にするのは難しいですが、お寺にも同じことが言えるなあ共感しました。(森)

8月7日・8日は

# おたる別院の

# 盆踊りでむた



前日までに集まって、踊りの練習をしたのに、当日も準備万端だったのに…



初日はあいにくの雨で途中で中止に。雨の中遊びにきて踊ってくれたお友達みんなありがとう。



2日めは何とか天候も持ちこたえて、無事日程を終えることができました。



今年は出店の他に、竹とんぼやケン玉など昔のおもちゃで遊ぶコーナーや子どもゲーム大会など盛りあがりました。町内のみなさまはじめ婦人会、壮年会、青年会と幼稚園のみなさま、出店に協力してくださったみなさまお疲れ様でした。

そしてご来場くださったみなさま来年と言わずお寺の行事・法要でまたお会いしましょう。ありがとうございました(^o^)

### 新入職員挨拶



参勤 岡崎 昌磨  
おかざき まさひろ

去る、7月1日より小樽別院にご縁を頂戴致しました岡崎昌磨と申します。北海道とは正反対の九州熊本県の阿蘇出身でございます。北海道開教発祥の地ここ小樽で、お念仏の更なる弘隆と別院護持発展のために、微力ながら力を尽くしていきたいと存じます。初めての地で、不行き届きの点多々あると存じますが、何卒ご寛恕いただき、ご指導ご鞭撻賜りますようお願い申し上げます。

### 職員異動挨拶

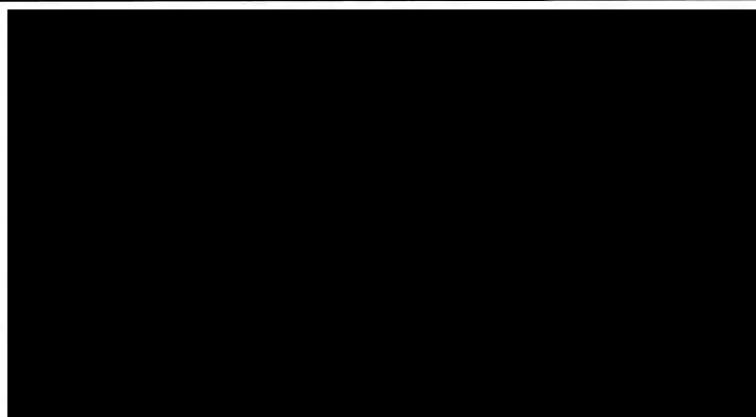


参勤 梶 純信

7月1日付をもって本願寺帯広別院に転勤することとなりました。思い返せば平成5年秋より通算16年の長きにわたり、小樽の皆様にお育ていただきましたこと、誠に有り難く感謝に堪えません。とくに本堂ご修復の大事業を始めとして、多くの事業に携わることができ、貴重な経験をさせていただきましたことも、生涯忘れられないことでもあります。帯広においても、小樽での皆様のお育てとご恩を忘れず、精一杯勤めさせていただきますと改めて考えております。長い間本場に有難うございました。重ねてお礼申しあげ、転勤のご挨拶とさせていただきます。

### 別院門徒物故者

(平成二十二年七月末日現在)



### 本堂修復懇志新規

### 進納者御芳名

(平成二十二年七月末日現在)

岡内恵美子 佐藤 妙子

(敬称略)

### 常例布教講師

10月

前期 常例布教お休み  
後期 常例布教お休み

11月

前期 奈良県称名寺 伊藤 知誠師  
後期 未定

3分間の心のともしび  
小樽別院



テレホン法話  
24時間いつでもどうぞ  
TEL 27-1616

#### ●テレホン法話担当表

10/ 1金~15日金	山 邊	11/ 1月~15日月	西 川
10/16土~31日日	門 上	11/16火~30日火	岡 崎

### 編集後記

残暑お見舞い申し上げます。今年も後期に入りました。前期は親鸞聖人七五〇回大遠忌におけて門徒の皆様と色々とお勉強させていただきました。只々言葉に出来ませんありがとうございました。一部身に付けて来年は元気に本山に参拝に行きたいと心より楽しみに思っております。この度事務局に新人の門上さんが入りました。編集会議にも新しい風が吹き、大変嬉しく思っております。今後とも別院だよりをよろしくお願ひ申し上げます。

### 編集委員

門徒委員	別院担当者
福川ヨシ子	温井 卓生
平田 晴己	森 敬信
宮本 和枝	門上 誓淳
竹澤 知恭	

### 連絡先

本願寺小樽別院 小樽市若松1丁目4番17号  
☎0134-22-0744 FAX 0134-29-4080

# みんな仲良し 小樽幼稚園

～まこと(いのち)の保育を行っています～



当園では、浄土真宗のみ教えに基づき「いのちの大切さ」「自然への感謝」「やさしい心」を育てる保育に努めています。

又、お絵かきや工作などのクラスでの活動の他に、プール遊びや、週に2・3回クラス合同のホールでのリズム遊びなどを通し、異年齢の交流を深めており、年長から年少までみんな仲良く遊んでいます。

是非一度見学にお越しください。(年中見学可能です。事前にお電話でご連絡ください。)

- ☆保育時間→月曜日～金曜日(8:00～14:00/冬期間(12月～3月) 8:00～13:30)
- ☆昼食→お弁当～週2回/給食～週3回(パン食2回/米食1回)
- ☆預り保育→月曜日～金曜日(17:30迄)行います。(15:30迄は無料です/降園バス有/夏休み・冬休み(8:30～17:00))
- ☆プール遊び→年間を通して、温水プール遊びを行っています。(年長のみプール指導有)
- ☆英会話→月2回年長のみ行います。
- ☆体操教室→月1回年長・年中・年少に分かれて行います。
- ☆送迎バス→ご希望の方は、ご自宅付近まで送迎致します。
- ☆主な行事→花まつり・降誕会・運動会・親子遠足・バス遠足・いも掘り・報恩講・お遊戯会・おもちゃつきなど。
- ☆ならし保育→満2歳以上、就園未満のお子さんを対象に、毎週火曜日・木曜日に保育を行います。

## 園児募集中

※詳しくは、入園案内をごらんください。



詳しくはお電話でお問い合わせください。

学校法人 小樽龍谷学園

小樽市若松1丁目4番17号

# 小樽幼稚園 TEL/FAX 0134-22-6536